

【令和2年度 学校関係者評価書】

学校名	奈良市立平城小学校 印
評価者名 (学校運営協議会委員または学校評議員)	井村誠之 中辻均 和泉博文 中谷美恵子 畠山壽美子 粕谷正文 山村由希子 小倉康裕 岩倉大
学校関係者評価実施日	

大項目	中項目	目標達成状況及び取組状況について	学校の取組の適切さについて	教育活動、学校経営の改善方策について
I 教育活動に関するもの	教育目標・教育計画 教科指導 道徳教育 特別活動 総合的な学習の時間の指導 人権教育 生徒指導 キャリア教育 特別支援教育 体力向上推進	<ul style="list-style-type: none"> ・校長、教頭先生がリーダーシップを取り教職員と共に目標に向かって取り組み、委員会や係活動にも積極的に指導している。 ・一定のクラスの授業の中断などが気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員目標意識が高く、各学年毎に指導方法を工夫して取り組んでいる。 ・子どもたちの日頃の活動状況や話し方等から見て適切に取り組んでいると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校へ行くのが楽しい学校づくりに更なる向上をお願いします。 ・コロナワクチンの接種が始まっていますがまだまだ取まるようではないです。誰がかかってもしかたない状況で区別と差別はちがう事をしっかりと学習してほしいと思います。 ・何か特徴のある行事や実習等を取り入れていく。
		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で学校に足を運ぶ機会が減ったが、栽培活動で子どもたちとふれあうことができ良かった。 ・地域との交流のためせかくの休日に平城っ子クラブの活動に参加して下さった先生方に感謝しています。子どもたちに信頼されていることがよくわかりました。 		
II 学校経営に関するもの	組織運営 研究・研修 安全管理 保健管理 小中一貫教育 地域との連携 施設・設備 情報管理	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上と学校、保護者、地域との連携に努め、又、学校の情報発信に積極的に取り組んでいる。 ・地域連携として地域教育協議会の放課後子ども教室が学校と一緒に「平城まちかど発見」を行っている。 ・青色パトロールが学業日には必ず巡回してくれており、防犯に大きな役割を果たしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営全般において教職員が共通理解のもと教職員の意見が反映され学校経営に当たっている。又地域と連携して食への関心を高め、食育の推進に取り組んでいる。 ・学校HPなど情報公開が適時適切になされていた。 ・安全管理や地域との連携はうまくいっている様思う。 ・設備、Wi-Fiは強くなったのでしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業を利用して社会教育推進という立場で学校と公民館と一緒に活動できればよいと思う。 ・安全面、防災面で改善要望があれば早めの要望又は相談を。
		<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットによる授業が行われています。皆が楽しみながら使っているなら良いですが、「父母が苦手でセッティングが出来ないが、祖母はもっとわからない。」との話を聞き、今の時代について行く難しさを感じ、又、高学年になると不必要な書き込みがでてくるのではと余計な心配をしています。 ・感染症予防対策等に先生方の負担が増え大変なご苦労があると思います。子どもたちの学校生活を守っていただいていることに感謝しています。ありがとうございます。 		

その他の学校に関する意見

・学校教員が多忙となっている中、社会教育に関しては公民館に委ねられるものは委ねてもよいと思う。その整理が大変と思うが。

・公民館で活動しているグループの人を学校教育の中で活かせるなら活かしてほしい。家庭科や音楽、図工などでゲストティーチャーをできる場合があると思う。

・校門から南側は歩道が設けられたが北側は狭く下校時は不安です。学校の敷地内、特に非常階段を移設して幅員を確保し、歩道を設置できないか。地元も協力します。

・少年指導協議会への情報提供や協力依頼の連絡をいただいているなか、指導委員の多くが働いており、特に登下校時の見守り活動が制限されている状況です。心苦しく思っておりますが、できる限りの協力をさせていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。

・地域との交流促進(防災士会を活用して下さい)。

・今年度はコロナ感染症防止の為、突然の長期休みになり子どもたちは嬉しい反面どこにも行けず何もする事がなく、気力、体力がかなり落ちたのではと思っていました。家庭的にしんどさを感じている子どもたちはどうしているのか、地域での見守りは・・・など、気になりながら何もできずに過ぎてしまいました。今後地域として子どもたちが気軽に立ち寄れる場所作りを考えていければと思っています。休み明けから夏休みに入るまで学習面の進行が早かったように思いました。休み中の分をと言う事だったでしょうが、ついでに行くのにしんどい子もいたのでは？工夫をされての平城リムピックや密をさけ体力づくりを兼ねながらの校外学習など先生方には大変なご苦労をおかけしていますが、子どもたちには大切な思い出として残ったのではと感謝です。